

BIG KNOB

PASSIVE

モニターコントローラー

オーナーズ・マニュアル

Ver. 1.0



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3 TEL: 0476-89-1111 FAX: 0476-89-2222
<https://www.soundhouse.co.jp> E-mail: shop@soundhouse.co.jp

安全上の注意

1. この製品を使用する前に本書をよくお読みください
2. 本書は必要ときに見返せるよう、大切に保管してください
3. 警告表示には必ず従ってください
4. すべての説明に従い、正しくご使用ください
5. 水のかかる場所や湿気の多い場所では使わないでください
6. お手入れは乾いた布で行ってください
7. 製品の通気口をふさがないようにください
8. 暖房器具やストーブなど、熱を発生する機器の近くには設置しないでください(アンプなども含む)
9. メーカーが指定した付属品・アクセサリのみをご使用ください
10. 製品は、テーブルなど、平らな場所に設置してください。キャスター付きの台(カート)を使用する場合は、移動中に転倒してケガをしないよう、十分にご注意ください
11. 修理や点検は、必ず専門の技術者にご依頼ください。以下のような場合には、製品の修理が必要です
 - ・液体をこぼした、異物が製品内部に入り込んだ
 - ・落下や踏みつけなどで、本体または電線コードやプラグ等が損傷した
 - ・雨や強い湿気にさらされた
 - ・正常に動作しない
12. 大音量により聴覚障害を引き起こす可能性があります。また、音量にかかわらず長時間の聴取により継続的に耳に負担をかけ、聴力に悪影響を及ぼす可能性があります



注意

感電の危険があるため、カバー(または背面)を取り外さないでください。修理は必ず専門の技術者にご依頼ください。

警告: 火災や感電の危険を減らすために、本機を雨や湿気にさらさないでください

※本製品を廃棄する際は、お住まいの地域で定められたルールに従って処分してください

Big Knob Passive の特徴

- 2入力×2出力のモニタースピーカー用コントローラー
- ステレオ2系統の音源と、ステレオ2系統のモニタースピーカーから選択可能
- 初代Big Knobのボリュームコントロール機能を継承
- プロ仕様のモノ、ミュート、DIMスイッチを搭載
- 原音そのままのクリアサウンド
- 電源不要のパスシブ回路設計
- 戦車のように頑丈なメタルボディ

はじめに

Big Knob Passiveは、プロ仕様の操作性を備えたベストセラーモデルのデザインを継承し、あらゆる規模のスタジオでソースとモニターの切り替えを可能にするモニターコントローラーです。

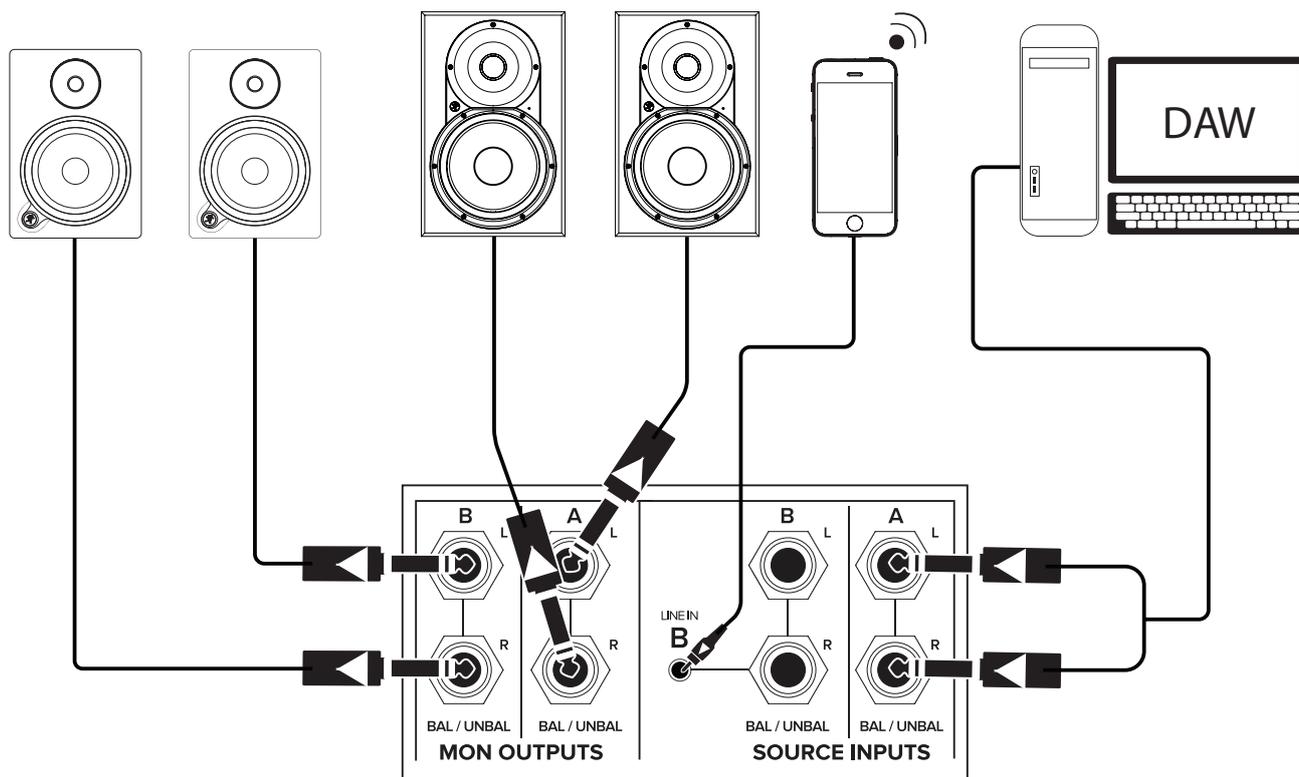
電源不要のパスシブ音声回路により、信号全体を原音に忠実なサウンドで出力。ボリュームコントロールだけでなく、2つのソースと2つのモニタースピーカーを選択できる機能も搭載しています。

宅録やスタジオなどでのシンプルな用途から大規模スタジオの本格的な運用まで、幅広いニーズに対応します。

クイックスタート

1. すべてのノブを最小まで下げてください
2. すべてのスイッチをオフにしてください
3. Big Knob Passive の「SOURCE INPUTS」に、以下のような機器を接続します
 - ・オーディオI/O
 - ・キーボード、ドラムマシン、などのラインレベル機器
 - ・その他のステレオ再生機器
4. ケーブルを使用して、「MONITOR OUTPUTS」からパワードスピーカー、またはパスシブスピーカーに接続されたパワーアンプに接続してください
5. スタジオモニター(またはアンプ)の電源をオンにしてください
6. 「SOURCE INPUTS」に接続した機器のボリュームは、普段使用する時と同じ設定にしてください
7. 使用したい入力(SOURCE SELECT)と出力(MONITOR SELECT)を、それぞれのスイッチで選択してください
8. 音量ノブをゆっくり回し、快適なリスニングレベルに調整してください

接続例



Big Knob Passiveは、宅録やプロジェクトスタジオの音量コントロールはもちろん、大規模スタジオでの一部のコントロール用途にも最適なツールです。数ある特長の中でも、電源を必要とせずに動作する点は特に注目すべきポイントです。従来のコントローラーと異なり、場所を選ばず柔軟に設置できるのが魅力です。設置場所が決まったら、さっそくケーブルを接続してみましょう。

この例では、お使いのDAWがインストールされたPCのアナログ音声出力を、Big Knob Passiveの「Source Inputs A - L/R」端子に接続しています。「Source Input B」には、標準フォン端子（1/4インチ）に加えて、ステレオミニフォン端子（1/8インチ）も搭載されており、どちらにも入力が可能です。両方の端子にソースが接続されている場合は、1/8インチのステレオミニフォン端子の信号が優先されます。この例では、スマートフォンの音声出力をステレオミニフォン端子に接続しています。

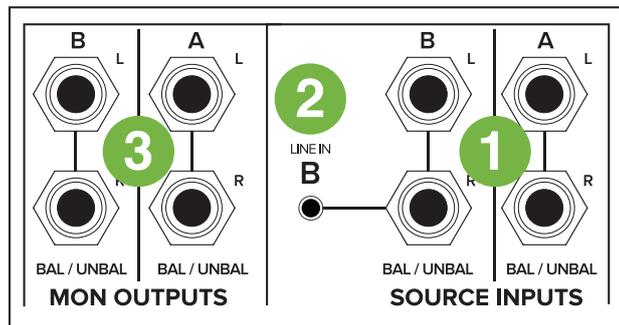
出力セクションも、入力セクションと同様に直感的でわかりやすく設計されています。この例では、「Mon Output A - L/R」端子にXRスタジオモニターシリーズのペアを接続し、「Mon Output B - L/R」端子にはMRmk3スタジオモニターシリーズのペアを接続しています。

これで接続は完了です。あとは、思いのままに音を楽しんでください。さて、トップパネルにはさまざまなスイッチやボタンが並んでいますが、それぞれどのような役割があるのでしょうか。中央には、ひときわ目を引く大きなシルバーのボリュームノブ、「BIGノブ」が配置されています。このノブや各スイッチ・ボタンを使って、入力や出力の切り替え、音量の調整などが行えます。次のページでは、Big Knob Passiveの各機能について詳しくご紹介します。

Typical Big Knob Passive Setup

リアパネルの機能

リアパネルは様々な機器をBig Knob Passiveと接続する部分です。機器の信号はBig Knob Passiveによりルーティングされ、MON OUTPUTS端子から出力されます。



1. フォン入力端子 (1/4インチ)

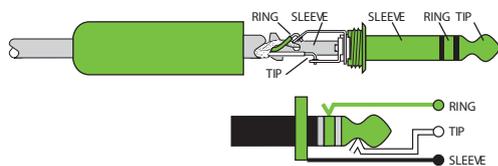
音源からのL/Rステレオラインレベル信号を、これらの端子に接続します。

- ソースの入力コネクタは、バランス信号・アンバランス信号のどちらにも対応しています。
- TRS端子には、アンバランスのTS (チップ-スリーブ) ケーブルも接続可能です。プラグがTSタイプ (ギタープラグのような形) がTRSタイプ (ヘッドフォンプラグに似た形状) でリングがスリーブに接続されているかを確認してください。また、プラグがジャックに奥までしっかり差し込まれているかも確認してください。

配線は以下のようになっています。これはAES(Audio Engineering Society)が定めたものです。

バランスTRSフォン (1/4インチ)

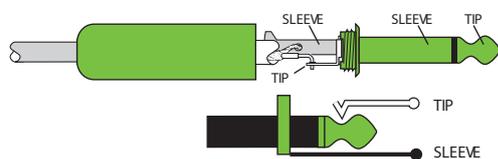
ホット (+)	チップ
コールド (-)	リング
シールド (グラウンド)	スリーブ



バランスTRSフォン (1/4インチ)

アンバランスフォン (1/4インチ)

ホット (+)	チップ
シールド (グラウンド)	スリーブ



アンバランスフォン (1/4インチ)

2. ステレオミニフォン入力端子 (1/8インチ)

ステレオミニフォン入力は、スマートフォン、MP3プレイヤー、などの音源からラインレベルの信号を受けることができます。



Source Input Bは1/4インチと1/8インチの両入力を同時に接続することができます。両方の端子にソースが接続されている場合、1/4インチ端子よりも1/8インチ端子の信号が優先されます。

3. フォンモニター出力端子 (1/4インチ)

パワースタジオモニターや、パッシブスピーカーを再生するためのパワーアンプの入力端子と、この端子を接続します。

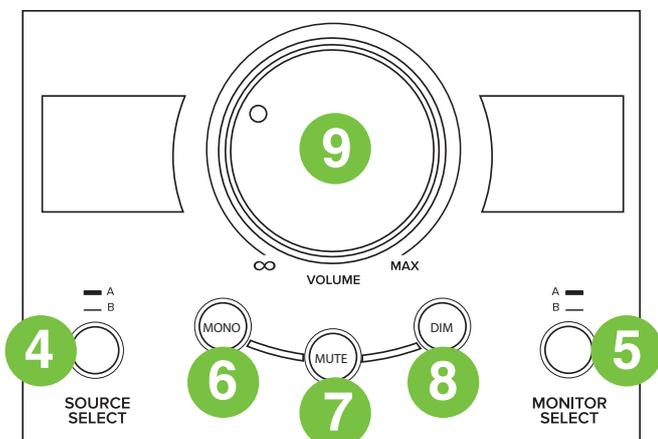
MON OUTPUTSは「コントロールルームバス」より供給されます。これは現在SOURCE SELECT ボタンで選択されている音源から供給され、ボリュームノブの調整が加わった信号です。

- MON OUTPUTS端子は、バランスまたはアンバランスの信号を出力できます。
- TRS端子には、アンバランスTS (チップ-スリーブ) ケーブルを接続することができます。プラグの形状がTSタイプ (ギタープラグのような形状) なのか、TRSタイプ (ヘッドフォンプラグに似た形状) でリングがスリーブに接続されているかを確認してください。また、プラグがジャックに奥までしっかり差し込まれているかも確認してください。

左の図のように、コネクタがAES/IEC基準に準拠していることを確認してください。

フロントパネルの機能

フロントパネルではあなたの好きなようにコントロールを行うことができます。リアパネルでの接続が一通り終わったら、フロントパネル上のスイッチやノブを確認しましょう。それでは詳細に移ります。



4. Source Select スイッチ

ソースの入力を切り替えることができます。スイッチを何も押していない状態だとSOURCE INPUTSのAに接続した音源が選択され、スイッチを押し込むことでSOURCE INPUTSのBに接続した音源を選択できます。

5. Monitor Select スイッチ

モニターの出力を切り替えることができます。スイッチを何も押していない状態だと、MON OUTPUTSのAに接続されているモニターが有効になります。スイッチを押し込むことで、MON OUTPUTSのBに接続されているモニターが有効になります。

6. Mono スイッチ

Monoスイッチを押すと、ステレオの入力信号を単一のモノラル信号に変換し、出力できます。L/Rの入力信号が組み合わさり、L/Rの出力からモノラルにて出力されます。これによりモノラルシステムで再生した際の、ステレオ信号の位相チェックを行えます。

7. Muteスイッチ

スイッチを押すことで、信号をミュートできます。Muteスイッチを押すと、ボリュームノブを最小まで回しきった状態と同じ結果を得られます。

8. Dimスイッチ

このスイッチを押すと、出力される信号が20dB下がります。これによりスピーカーのボリュームを下げることなく、スピーカーからの出力レベルを下げることができます。

9. ボリュームノブ [Big Knob]

大きなボリュームノブ（通称Big Knob）は、SOURCE SELECTで選択した入力ソースの信号レベルを調整できます。ボリュームノブの可動範囲はオフ（∞）からユニティゲイン（MAX）までです。



注意: 接続をしたり機器の変更をする際は、必ずボリュームを最小まで下げてください。機器が問題なく接続されていることを確認したら、ゆっくりとボリュームを上げてください。これによりスピーカーだけでなく、あなたの大切な耳も保護することができます。

サービスについて

Big Knob Passiveに問題が発生した場合は、下記の「トラブルシューティング」を参照して問題点をご確認ください。下記の内容に沿って状況を確認しても問題が解決しない場合、または明らかに製品が故障している場合は、ただちに使用を中止してこの製品を購入した販売店まで修理をご依頼ください。

トラブルシューティング

音が出ない

- 音源の音量は十分ですか？接続されている機器の信号レベルが十分に上がっているか確認してください。
- Big Knob Passiveのボリュームノブは十分あがっていますか？
- Source SelectスイッチとMonitor Selectスイッチは正しく設定されていますか？
- Muteスイッチが有効になっていませんか？

音が良くない

- ジャックは入出力端子に最後までしっかり挿し込まれていますか？完全に接続されていることを改めて確認して下さい。
- 音量が大きくて歪んでいる場合はソースが適切なレベルに調整されているか確認してください。

ノイズ / ハム / バズ

- ソースとBig Knob Passiveの接続に使用されているケーブルを確認してください。すべての接続に問題はありませんか？ケーブルがしっかり接続されていないとノイズの原因になる場合があります。
- 信号ケーブルを電源コードや電源トランスなど電磁干渉を発生するものの近くに設置しないで下さい。これらはしばしばノイズの原因となることがあります。
- ヒスノイズが発生している場合、Big Knob Passiveへ入力される前の段階でゲイン設定が適切ではない可能性があります。
- Big Knob Passiveに接続されている音源に直接ヘッドホン等を挿して音を確認してください。そこでノイズが確認できた場合、原因はBig Knobではない可能性が高いです。

Big Knob Passive仕様書

周波数特性

0 dBu Input: ± 1 dB, 10 Hz - 30 kHz

歪率 (THD+N)

0 dBu Input @ 1 kHz: < 0.005 %

クロストーク (20 Hz - 20 kHz)

0 dBu Input @ 1 kHz: < -85 dB

ミュートスイッチ

ミュート時 -100 dB

SN比

A-weighted: < -100 dB

最大入力レベル

全入力: +22 dBu

ステレオミニフォン入力: +15 dBu

入力タイプ

入力タイプ: バランス/アンバランスフォンメス
ステレオミニフォンメス

出力タイプ

出力タイプ: バランス/アンバランスフォンメス

寸法・重量

高さ: 79 mm

横幅: 137 mm

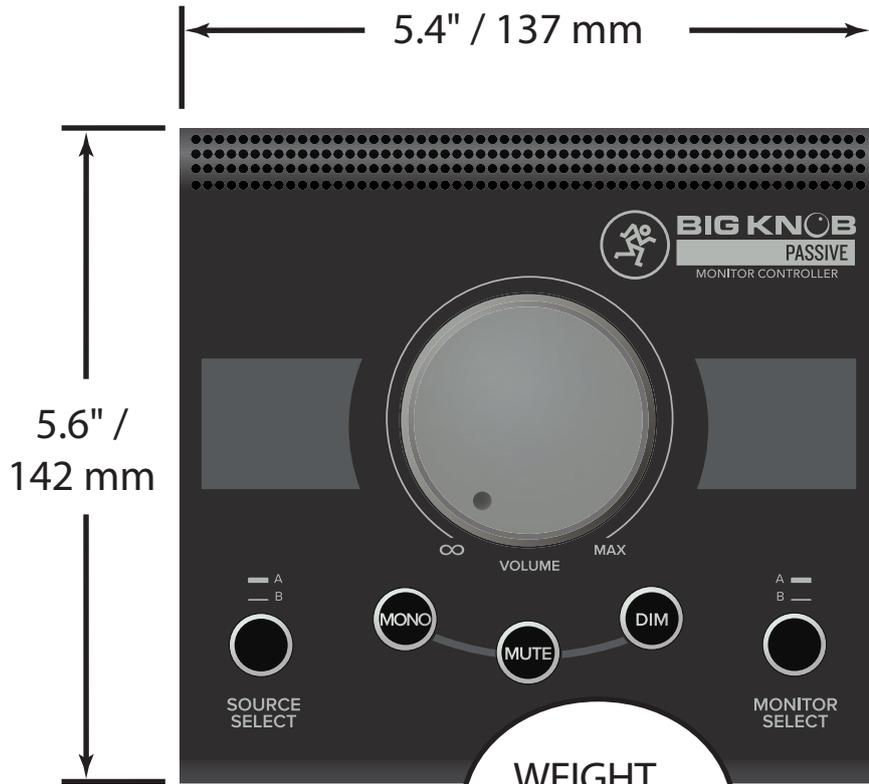
奥行き: 142 mm

質量: 1.0 kg

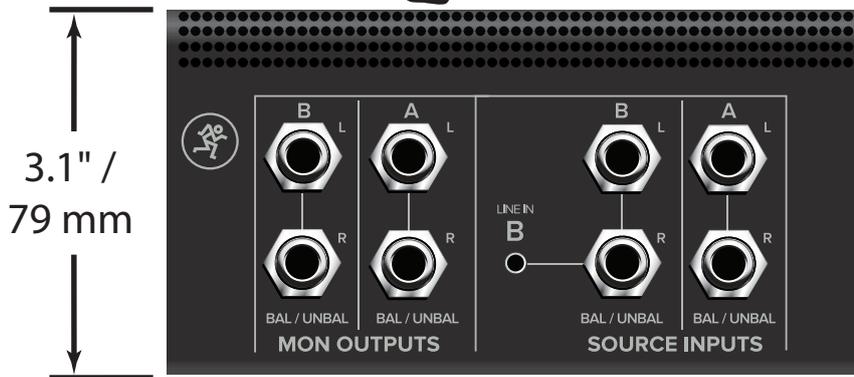
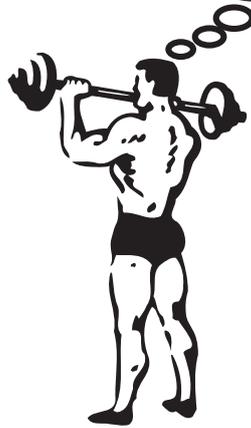
LOUD Technologies社は、常に新しい素材、部品、製造方法を取り入れて製品を改善するよう努めているため、製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。

「ランニングマン」、「Running Man」はLOUD Technologies社の商標です。他の商品名または会社名は各社の商標または登録商標です。

Big Knob Passive寸法



WEIGHT
2.2 lb /
1.0 kg



Big Knob Passiveブロックダイアグラム

